

難聴学級だより



R6. 9. 24 No. 5
江戸川区立鹿本中学校
難聴通級指導学級

小中交流授業

小中交流授業として、本校に校内通級しているNさんと、校外通級生のIさんが、小学生の際に通っていたきこえの教室がある第六葛西小学校にて後輩たちを前に「小学校から中学校に進学して変わったこと」「難聴学級はどんな所か」「校内通級・校外通級のことについて」などの話をしました。

真剣に話を聞く第六葛西小学校のみなさんを前に、Nくん、Iさんの、落ち着いた堂々と発表する姿に2人の成長を感じました。以下、発表した内容を抜粋します。



Nくん：僕が鹿本中学校のいいな、と思っているところ。それは、すぐに友達ができるところです。みなさんも鹿本のみなさんに話しかければ、すぐに仲良くなり友達になれると思います。

Iさん：私は第六葛西小学校のきこえの教室から、中学校に進むときこえの教室が無くなると思っていました。ですが、難聴学級が鹿本中学校にあることを知り、鹿本中に校外通級し、楽しく先生と話せる場所になっていることがありがたいです。

2人の発表の後には、小学生、中学生全員でボードゲームや、ボール遊びをして緊張をほぐし、楽しく交流する時間もありました。発表のために難聴学級担任と打ち合わせし、練習を重ねたNくん、Iさん。とても良い発表でした。難聴学級の通級について振り返る、いい機会になったと感じています。第六葛西小学校の大山先生、きこえの教室のみなさん、貴重な機会をいただきありがとうございました。

☆☆☆☆☆ ☆☆☆☆☆ ☆☆☆☆☆ ☆☆☆☆☆ ☆☆☆☆☆ ☆☆☆☆☆ ☆☆☆☆☆

自立活動報告「ボードゲームを作ろう」

9月11日(水)に自立活動「ボードゲームを作ろう」を行いました。今回の議長はNくん、書記はIさんが担当しました。今回の内容は難聴について色々な人に伝える道具として「難聴に関する内容のボードゲーム」または「難聴、ろう者の人でも健聴者の人と一緒に遊びやすいボードゲーム」を制作する計画を話し合いました。まず、授業にご参加いただいた校長先生とともに、林先生、Iさん、Nくんの4人に矢坂先生が自作したボードゲームを遊び、生徒たちはボードゲームを制作するイメージを膨らませました。

そして、今回の話し合いではIさんから「難聴学級にまつわるカルタを作りましょう。」という提案があり、話し合いを深めることで内容を詰めていきました。Iさんは「難聴学級のドアは厚い」といった難聴学級ならではの特徴や「クーラーの効きが良い」といった本当ですが、クスッと笑えるアイデアなど、いくつものカルタのお題を考えました。普段何気なく過ごす難聴学級の特徴を振り返る機会になりました。今後の自立活動で、このアイデアをより膨らませていきましょう。

◆◆◆◆◆ ◆◆◆◆◆ ◆◆◆◆◆ ◆◆◆◆◆ ◆◆◆◆◆ ◆◆◆◆◆ ◆◆◆◆◆

聴力検査のお知らせ

鹿本中学校では9月27日(金)14時より、難聴生を対象に専門家による聴力検査を行います。校外通級生も検査を受けることが可能です。ぜひ、ご参加ください。校内通級生は中間考査最終日となりますが、給食後、難聴学級に残り聴力検査を受けることとなります。ご承知おきください。